

特 71

734

大園榮之助編

獸醫回診錄 全

東京 長隆舍發行

301317-001-8

特71-734

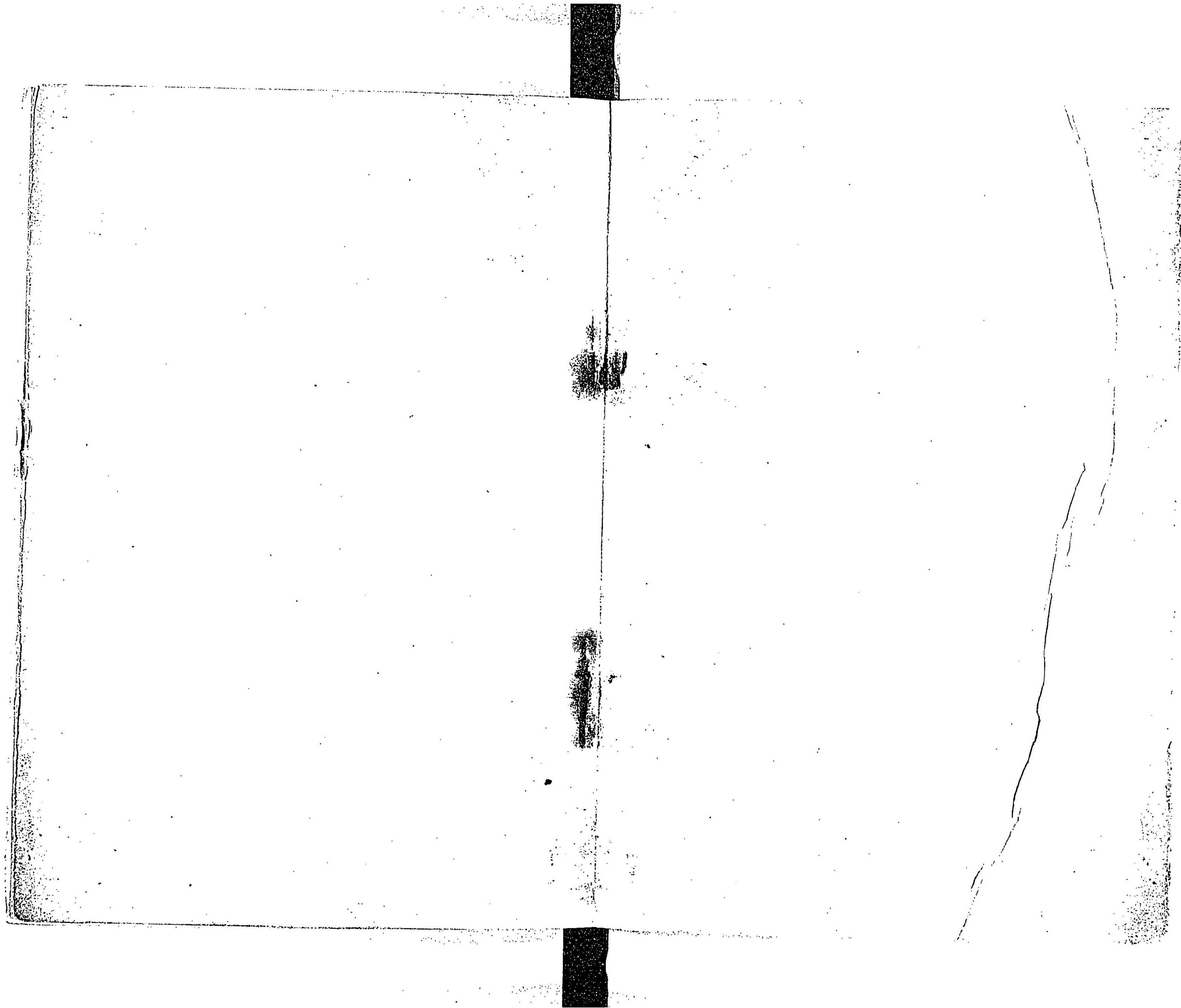
獸醫回診錄

大園 榮之助 / 編

M42.4

CCD-0001





尿量	0	10	20	30	40	50	60	70	80
大便	30	40	50	60	70	80	90	100	110
	120	130	140	150	160	170	180	190	200
	210	220	230	240	250	260	270	280	290
	300	310	320	330	340	350	360	370	380
	390	400	410	420	430	440	450	460	470
	480	490	500	510	520	530	540	550	560
	570	580	590	600	610	620	630	640	650
	660	670	680	690	700	710	720	730	740
	750	760	770	780	790	800	810	820	830
	840	850	860	870	880	890	900	910	920
	930	940	950	960	970	980	990	1000	

診断ノ要素

疾病ノ診断ニハ三個ノ要素アリ

- 一 症候ヲ觀察スルコト
- 二 何レノ器官ガ疾病ニ罹レルカヲ發見スルコト
- 三 病性ヲ鑑識スルコト

症候ノ觀察

- 一 指定症候
直チニ疾病ヲ断定シ得キ症候ヲ云フ例之肺炎ノ錆色痰ニ於ケル三尖瓣ノ閉鎖不全ニ頸靜脈搏動ノ如シ
- 二 自覺症候
獸醫ハ此ノ症ノ幫助ヲ得ルコト殆ドナシトス
- 三 他覺症候
獸醫自ラ其五官及器械ノ力ヲ藉リテ患者ニ就キ發見セル症狀ヲ云フ
- 四 直接症候
病變アル器官ニ發スル症候ニ就テ診スベキモノヲ云フ
- 五 間接症候
例ヘバ脈搏ニヨリテ心臟病ヲ知リ尿性ニヨリテ腎病ヲ察スルガ如シ
- 六 全身症候
例ヘバ血行器ノ異常、体温ノ増減等ノ如シ
- 七 局所症候
局部ノ増溫、疼痛、腫脹等ノ如シ

八 偶發症候 例へば蛋白尿病ニアラザル他病ノ經過中ニ一時發スル所ノ蛋白尿ノ如キモノナリ

九 官能的症候 官能障害ヲ現ハス症候ヲ云フ例へば麻痺、痙攣ノ如シ

十 特發症候 原病ヨリ發シ來ル症候ヲ云フ

十一 繼發症候 繼發症ノ爲メ生ズル症候ヲ云フ

十二 前驅症候 疾病ノ未ダ全ク發現セザルニ當リ起ル症候ヲ云フ

十三 既往症候 現在セザルモ回診ニヨリテ知リタル症候ヲ云フ

秩序模範的診斷法

第一 病歴 來歴ノ調査

第二 現症 現症ノ診査

甲 一般診査

一 相貌記錄

三 皮膚

五 體溫

乙 各部診査

二 體質

四 結膜

- 六 循環裝置
- 七 呼吸裝置
- 八 消化裝置
- 九 泌尿裝置
- 十 生殖裝置
- 十一 神經系統
- 丙 特別診査
- 十二 運動
- 十三 診斷的接種
- 十四 淋巴腺
- 十五 血液滲出物及滲漏物
- 十六 細菌學的診査

疾病種類ノ鑑識

- 一 症候的診斷 病体ノ外部ニ現ハル、症候ノミニヨリテ直チニ症性ヲ斷定スルヲ云フ
- 二 解剖的診斷 解剖的變化ニヨリテ病性ヲ斷定スルヲ云フ
- 三 直接診斷 觀察シタル症候ヲ基礎トシテ直接ニ診斷ヲ下スヲ云フ
- 四 間接診斷 現在ノ症候ヲ彼是參照シテ病性ヲ決定スルノ法ナリ
- 五 確診及豫診 初診ニ於テ疾病全般ノ性質ヲ知得シテ確診ヲ下シ或ハ疾病ノ經過ヲ觀察シテ(豫診)診斷ヲ定ムルヲ云フ

相貌記錄ニ記ス可キ事項

- 一 畜種 (馬牛、豚、羊、山羊、犬、猫等)
 - 二 性 (牡、牝、騾)
 - 三 毛色別徵
 - 四 年齡
 - 五 體ノ容積(大小)
 - 六 種
 - 七 用途 (乘、挽、役、乳、肉用)
- 現症診查ノ通法
- 甲 理學的診查法
 - 一 視診
 - 二 觸診
 - 三 秤診
 - 四 測診 (乳汁検査ノ際等ニ應用ス)
 - 五 嗅診
 - 六 味診
 - 七 打診
 - 八 聽診
 - 乙 驗溫法
 - 丙 化學的診查法
 - 丁 顯微鏡的診查法
 - 戊 細菌學的診查法

體質全般

- 一 體ノ姿勢 (起立、横臥)
 - 二 營養狀態 (最良、善良、中等、良、稍良、不良)
 - 三 体格
 - 四 稟性 (多血質、粘液質)
 - 五 資質 (善良ノ資質、不良ノ資質)
- 皮膚及ビ皮下織ノ診查
- 一 被毛 (被毛ノ性状、毛子脱換、毛子脱落)
 - 二 皮膚ノ色澤 (皮膚蒼白、皮膚藍紅色、皮膚黃色)
 - 三 皮膚ノ溫度 (溫、冷)
 - 四 皮膚ノ彈性 (有無)
 - 五 皮膚容積ノ變異 (浮腫、氣腫)
 - 六 皮膚ノ分裂
 - 七 皮膚ノ蒸發
 - 八 皮膚皮下織ノ特種病的症狀(急性病ノ發疹、中毒性發疹、皮膚溢血、癩痕)
- 非寄生性皮膚病
- 一 脫毛症 (營養障礙ニ歸因スル毛子ノ脱落)
 - 二 血汗症 (匈牙利馬ニ多キ疾患)
 - 三 痒疹 (甚ダ痒覺ヲ伴フ皮膚炎)
 - 四 夏癬 (溫暖ナル季節ニ發生ス)

- 五 蕁麥疹 (頭部ニ發スル急性痒覺性皮膚炎)
- 六 濕疹 (乾癬、膝癩、繫癩)
- 七 疥疹 (牛ニ發スル四肢ノ疹)
- 八 雨疹 (羊ニ發スル濕疹症)
- 九 ルツス (豚ノ全身ニ發スル濕疹)
- 十 蕁麻疹 (迅速ニ蔓延シ又迅速ニ消散スル疹)
- 十一 豚ノ蕁麻疹熱 (急性傳染病ニシテ經過良好ナリ)

動物寄生性皮膚病

- 一 「ザルコプテス」疥癬 (痒覺甚ダシク醫癒困難ナリ)
 - 二 「デルマトコプテス」疥癬 (羊ニ多シ)
 - 三 「デルマトプアーグス」疥癬 (馬、羊ニ多シ)
 - 四 「デルマトトリクテス」疥癬 (家禽ニ多シ)
 - 五 アカルス 疥癬 (犬ヲ犯カス)
- 植物寄生性皮膚病
- 一 禿性匍行疹 (牛ニ多シ)
 - 二 白癬 (犬猫家兎、馬ニ寄生ス)
 - 三 英吉利斯 (加奈太)馬症(鞍下帶徑ニ發生スル皮疹)

- 四 虱 (牛、犬、馬、豚、羊、山羊ノ角根、頸背尾根ニ寄生ス)
- 五 扁蟲 (犬、馬、牛、猫、山羊、羊ニ發ス)
- 六 羽蟲 (家禽ニ寄生ス)

脈搏ノ異常

- 一 疾脈、頻數脈 一定時ニ於ケル脈數ノ増加チ云フ疾脈ハ左ノ場合ニ於テ現ル
 - イ 体温昇騰チ以テ主徴トスル熱病
 - ロ 心臟疾患 (心臟衰弱心筋炎、心内膜炎等)
 - ハ 動脈血管ニ於ケル異常ノ障礙 (血栓、肺氣腫等)
 - ニ 血液ノ變化 (貧血、惡性貧血、白血病)
 - ホ 精神的亢奮
- 二 遲脈或ハ稀脈 一定時ニ於ケル脈數ノ減少シタルモノチ云フ
- 三 不調脈、不整脈 搏動時間ノ等一ナラザルチ云フ
- 四 間歇脈及結代脈
- 五 強脈、大脈、實脈 (熱病心臟左側肥大、大動脈瓣閉鎖不全慢性腎臟炎ノ如キ症ニ見ル)
- 六 弱脈、小脈、虛脈、前者ニ反對セルモノニシテ心臟衰弱チ供フ諸症ニ發ス

- 七 不等脈 (脈波ノ大小等一ナラザルモノナリ)
- 八 急脈又速脈 (頻數脈ト混同ス可カラズ急脈ハ大動脈ヨリ發スル壓力ノ強大ニシテ且ツ迅速ナルニヨル)
- 九 徐脈 (前者ノ反對ニシテ老齡ノ健畜ニ見ル)
- 十 剛脈 (動脈壁ノ強キ緊張其ノ痙攣ニヨリ生ズ、此ノ脈ハ強直症、劇痛アル疝痛鉛毒疝痛、心臟左側肥大殊ニ萎縮腎ノ經過中ニ見ル)
- 十一 軟脈 (前者ノ反對ナリ心臟虛弱ノ一症ナリ)
- 十二 重複脈 (動脈固有ノ搏動ノ外ニ副搏動ヲ生ズルモノヲ云フ原因ハ動脈壁ノ緊張減少ニヨリ逆衝波強盛シテ起ル長熟ノ疾病ニ見ル)

呼吸装置ノ診査

- 一 呼吸數
- 二 呼吸運動
- 三 呼吸音
- 四 呼吸困難
- 五 呼出氣
- 六 鼻漏
- 七 鼻腔及其副腔ノ診査
- 八 顎凹部ノ診査
- 九 咳嗽ノ診査
- 十 喉頭ノ診査

- 十一 氣管ノ診査
- 十二 胸廓ノ診査
- 十三 胸壁ノ打診
- 十四 肺臟聽診

呼吸音ノ診査

- 甲 生理的呼吸音
 - 乙 病的呼吸音 (疾病ニヨリ發スル呼吸音ヲ云フ)
 - 一 鼻息呼吸音 (鼻腔ノ狹窄ニ原因スルモノナリ)
 - 二 肝聲呼吸音 (頸垂ノ顫動ニヨリ發ス)
 - 三 喘鳴呼吸 (喉頭ノ狹窄ニ原因シ牛ノ麻痺性子宮熱聲門擴張筋ノ麻痺ニヨル死悶等ニ於テ之ヲ發ス)
 - 四 笛聲呼吸音 (喉頭狹窄音ニシテ馬ノ喘鳴症、喉頭炎、氣管狹窄ニ發ス)
 - 五 水泡呼吸音 (濕性)
 - 六 噴嚏 (鼻粘膜面上ニ感作スル刺激ニ基因セル反射的運動ナリ)
 - 七 呻吟音 (長キ深キ吸息ニ續キテ發スルモノナリ)
- 呼出氣ノ診査
- 一 溫度 (上昇溫度ハ高度ノ熱症、肺充血、肺炎等、異常下溫ハ体温沈降、重性貧血、

内部出血、虚脱等)

- 二 呼吸流通ノ強度 (左右鼻孔ノ呼出氣ヲ他ノ鼻孔ニ比シ比較スル法)
- 三 臭氣 (呼出氣ヲ嗅クニアリ惡臭、甘臭、其他)

鼻漏ノ診査

鼻漏ノ診査ニハ左ノ要項ニ注意ス

- 一 流出ノ状態
- 二 量 (少量、多量、量ノ變化)
- 三 色 (綠色鼻漏、黄色鏽色鼻漏、血樣鼻漏)
- 四 成分 (漿液、漿粘液、粘液、粘液膿、純膿液鼻漏)
- 五 臭氣
- 六 異物混入

鼻及鼻腔ノ診査

甲 鼻外部ノ視診

乙 鼻腔内ノ診査

- 一 肉眼的ノ診査

- 二 器械ヲ介シテ行フ鼻腔診査

- 一 鼻粘膜ノ色澤 (蒼白色、潮紅、血斑、黄色等)
- 二 鼻粘膜ノ腫脹
- 三 慢性結締組織肥厚
- 四 鼻粘膜ノ創傷
- 五 小結節
- 六 小水疱及蕁麻疹
- 七 新生物
- 八 格魯布質布的里性滲出物
- 九 潰瘍
- 十 癍痕

顎凹ノ診査

甲 顎凹淋巴腺ノ腫脹

- 一 顎凹腺ノ疾病ノ一側若クハ兩側ナルヤ
- 二 腺上ニ於ケル皮膚ノ性状
- 三 腺下皮膚トノ關係
- 四 腺腫ノ容積及形狀
- 五 腺腫ノ硬軟
- 六 疼痛性及溫度
- 七 比隣組織ト腺トノ附着
- 乙 顎凹部瀰漫性腫脹

咳嗽ノ性状

- 一 發咳法 (自然及人為發咳)
- 二 度數 (稀、屢)

三 疼痛 (痛咳、無痛咳)
五 時間 (長短)
七 咯出氣量 (實空)

四 強度 (強弱)
六 咳響 (清、濁、高低、乾濕)

喉頭ノ診查

甲 外部診查

一 視診 (容積形狀)

三 聽診

二 觸診 (增溫、疼痛等)

乙 內部診查

氣管ノ診查

一 視診 (氣管形狀等)

三 聽診

二 觸診 (痛ノ有無銳感性等)

胸廓ノ診查

一 視診 (骨格ノ畸形、肋骨骨折、胸廓ノ外形等)

二 觸診 (溫熱、疼痛、胸膜顫動等) 三 測診

胸壁ノ打診

馬 (フホーゲル氏ノ劃定セル胸壁三區劃)

甲 上打診部(背部)即チ胸壁ノ上三分ノ一部

乙 中打診部(固有肺部)即チ胸壁中三分ノ一部

丙 下打診部(胸骨部)即チ胸壁下三分ノ一部

打響ノ種類

一 尋常清音

三 過清音

五 鐵性音 (壺響)

二 假濁 (半濁)及眞濁(濁音)

四 鼓音

六 破壺音

各種肺胸膜病ノ音響

肺炎ノ第一期(鬱血)ハ鼓音ヲ呈ス

肺炎ノ第二期(肝狀變性)ハ半濁音ヲ呈ス

肺炎ノ第三期(吸收)ハ鼓音ヲ呈ス

加答兒性肺炎 ハ半濁樣鼓音ヲ呈ス

胸膜炎 一般ニ濁音ヲ呈ス

胸水 濁音ヲ呈ス

氣胸 清濁ナル鼓音或ハ鑽性音ヲ呈ス
 肺氣性 過清音ヲ呈ス
 肺浮腫 鼓音若シクハ弱半濁音ナリ
 肺空洞及氣管支擴張 鼓音又ハ鑽性音或ハ破壺音ヲ呈ス
 肺充血及氣管支炎 常態ニ同ジ

胸廓聽診呼吸音ノ種類

- 一 肺胞性呼吸音
- 二 氣管支呼吸音
- 三 壺響呼吸音
- 四 不定呼吸音
- 五 水泡音
- 六 摩擦音

消化裝置ノ診查

- 消化裝置ノ診查ハ左ノ條項ヲ診查ス
- 一 餌食及喫飲
 - 二 口腔ノ診查
 - 三 咽頭ノ診查
 - 四 食道ノ診查
 - 五 反芻
 - 六 嘔吐
 - 七 腹部一般ノ診查
 - 八 胃ノ診查

- 九 腹ノ診查
- 十 直腸ノ診查
- 十一 腸排泄物ノ診查
- 十二 腹膜及腹腔ノ診查
- 十三 肝臟ノ診查
- 十四 脾臟ノ診查

餌食

食物ニ對スル慾望

臨床上食慾障礙ヲ左ノ如ク區別ス

- 一 食慾減退 (種々ノ階級アリ)
- 二 食慾廢絶 (食慾全クナキモノ)
- 三 食慾不定 (食慾或ハ進ミ或ハ衰ヘ一定セザルモノ)
- 四 食慾暴進 (食慾亢進スルモノニシテ糖尿病等ニ見ル)

飲料ニ對スル慾望

- 一 渴慾減退 (疝痛、急胃腸病ニシテ下痢ノ發セザルモノ或ハ熱候ニ見ル)
- 二 渴慾廢絶 (數多ノ重性病精神沈鬱、腦病、等ニ見ル持續性ノ渴慾廢絶ハ豫後不良ノ徵ナリ)
- 三 渴慾増進(煩渴) 熱症、熱ノ分離期、滲出性胸膜炎及腹膜炎、屢次ノ嘔吐ヲ伴フ犬ノ胃腸加答兒、下痢、發汗、腎臟病、口内大乾燥等ニ見ル)

咀嚼障礙

- 一 甚ダシキ咀嚼緩徐 (頭部ノ腫脹、唇、舌、頰、顎骨、口内咽頭ノ大腫脹等ヲ主トシ咬筋ノ麻痺、舌麻痺齧齒ノ疾患其ノ他腦病等ニ見ル)
- 二 咀嚼困難 (顔面神經ノ麻痺強直症等ニ見ル)
- 三 咀嚼緩徐困難 (齒患ニ多ク見ル)
- 四 有痛性咀嚼 (頰、顎、顎凹ノ急性炎症等ニ見ル)
- 五 咀嚼異常音 (鼓舌音ト稱シ咽頭炎牛ノ驚口瘡ニ發ス又軋齒音ヲ聞クコトアリ)

嚥下障害

嚥下困難ハ咽頭ノ炎症機轉ニヨリ浸潤ヲ起シ且ツ嚥下ニ關與スル筋肉ノ不全作用ノ結果トシテ生ズ

口腔ノ診査法

- 一 温度
 - イ 口内増温 (熱性傳染病或ハ口内炎、咽頭炎ニ發ス)
 - ロ 口内減温 (虚脱、大出血、大貧血ニ發ス)
- 一 唾液分泌

齒診査

- イ 口内異常乾燥 (高熱全身病体内大量ノ水分ヲ損失スル疾病等)
 - ロ 口内異常濕潤 (唾液分泌增多ニヨリ發ス)
- ### 齒診査
- イ 齒列不整 (切齒白齒ノ齒列不整)
 - ロ 切齒及白齒ノ骨癆 (犬ノ骨軟症犬温熱貧血症ノ經過中ニ發ス)
 - ハ 切齒ノ弛緩及脫離 (口内炎或ハ水銀中毒等ニ見ル)
 - ニ 白齒ノ變狀 (開口器ヲ以テ檢診ス食欲減損流涎等ハ多ク白齒ノ變狀ニヨリ發ス)
 - ホ 齒間ニ嵌留スル異物 (齒間ニ異物嵌留シ一種ノ疾病ニ罹レルガ如キ症候ヲ呈スルモノアリ)

舌ノ診査

舌ノ診査ニ於テハ舌苔、舌ノ腫脹、舌ノ色澤、舌ノ乾濕、病的發生物等ニ注意ス

嘔吐ヲ發スル主要ノ疾病

犬猫ニ於ケル咽頭、及舌根ニ於ケル異物、食道ノ疾病、胃ノ疾病、腸ノ疾病、腹内器關ノ疾病、腦病等

吐物ノ検査

吐物検査ハ量、臭氣、化學的反應、顯微鏡検査

腹部ノ診査

- 一 視診 (腹圍異常膨大腹圍異常縮小)
- 二 觸診 (腹壁緊張ノ度腹内容物ノ性状、疼痛性第一胃運動)
- 三 打診 (上腹部、中腹部、下腹部ヲ打診ス)
- 四 聽診 (腹内容物ノ運動ニヨリ發生スル天然ノ音響ヲ聽ク)

糞ノ検査

糞ノ検査ハ左ノ要項ニ注意ス

- 一 排糞ノ狀 (排糞ノ難易)
- 二 排糞ノ回数 (常態ニアリテ馬ハ二十四時間中八回乃至十回牛ハ十二乃至十八回)
- 三 糞便ノ量 (二十四時間中健馬ハ十乃至十四吉魯瓦牛ハ二十乃至四十吉魯瓦)
- 四 硬軟及形狀
- 五 色 (健畜ニ於ケル糞色ハ食物ノ色素及膽汁色素ニ基因ス)
- 六 被覆物 (健獸ノ便ハ表面至薄ノ粘液ヲ以テ被包セラレ)

- 七 臭氣
- 八 化學的反應
- 九 顯微鏡検査
- 十 腸瓦斯ノ診査

泌尿器ノ診査

排尿ノ種類方法

- 一 排尿不利 (尿ヲ排泄スルニ當リ困難ヲ感ジ或ハ疼痛ヲ覺ユ)
 - イ 排尿困難 (排尿ニ異常ノ努力ヲナスモノ)
 - ロ 排尿疼痛 (排尿ニ苦悶疼痛ヲ感ズルモノ)
- 二 尿淋瀝 (尿淋漓滴出スルモノナリ)
- 三 排尿窘迫 (排尿ノ回数甚ダ多ク毎回少量ノ尿ヲ排泄スルモノ)
- 四 尿閉 (膀胱内ニ尿ヲ蓄溜シテ之ヲ排泄スルコト能ハザルモノ)
- 五 尿失禁 (膀胱内ニ尿ヲ蓄溜スルニ堪エザルノ病狀)

排尿回数

- 一 生理的回數 (健康ナル牛馬ハ一日五六回)

- 二 排尿異常頻數 (多尿症)
- 三 排尿異常減數 (膀胱麻痺等ニ於テ)

尿量

- 一 尿ノ常量 (健康体ニ於テモ一定ノ標準ナシ飼糧氣溫勞動等ニヨリ差アリ) 其ノ平均ハ大約
 - 馬 三乃至六拉篤 (最多十拉篤)
 - 牛 六乃至十二拉篤 (最多二十五拉篤)
- 二 減尿 (發汗過多、重性下痢、腎臟病、腹膜炎、胸膜炎、心臟衰弱症)
- 三 泌尿閉止 (胸疫等ノ際其他中毒症等)
- 四 多尿 (尿崩、糖尿病、腎臟血壓ノ増加等)

尿色

- 一 常尿ノ色 (健体ニアリテハ動物ノ種類、飼料、飲料、膀胱瀦溜ノ時間等ニヨリ異ル)
- 二 馬尿 (通常淡黄色ト黄赤色)
- 三 牛尿 (一般ニ淡黄色)
- 四 豚尿 (淡黄色ニシテ稍々蒼白色)

病的尿色

- 五 犬尿 (黄色若シクハ黄赤色)
- 一 蒼白水明ノ尿色 (糖尿病、尿崩、重性熱症ノ分利期、利尿藥ノ投藥後)
- 二 暗尿色 (熱性諸病、慢性胃腸加答兒、饑飢)
- 三 綠褐色、褐黄色 (膽汁色素ノ混合多量ナルトキ)
- 四 赤色 (尿中ニ血液或ハ血色素ヲ混ズルニヨル腎臟出血、膀胱出血、尿道出血、血尿病、血色素尿病等)
- 五 汚色 (敗血症、血斑熱ノ類)
- 六 藥物ニヨル尿色 (藥物ヲ尿中ニ混ズルトキ種々變色ス)

尿ノ比重

- 馬 一〇二〇乃至一〇五〇
- 牛 一〇二五乃至一〇四五
- 犬 一〇二〇乃至一〇六〇
- 尿ノ反應 (馬、牛、羊、山羊ノ尿ハ亞爾加里性犬猫ハ酸性豚ハ亞爾加里性又ハ酸性ナリ)

生殖器裝置ノ診査

- 一 淫慾亢進(牝ニ於テハ卵巢諸病、殊ニ結核、及癰腫牡狂犬病、芫菁中毒、脊髓諸病、腦病、強直症等)
- 二 淫慾減損(虛弱、脂肪過多、睾丸及陰莖ノ局所病)

神経系統ノ診査

神經障害ニ亢奮状態ト悞鬱状態トアリ

一 亢奮状態

- イ 亢奮及驚怖(腦刺戟ノ結果トシテ生ズ實性腦充血及腦炎亢奮期ノ特兆ナリ)
- ロ 躁狂(躁狂現象ノ最モ著シキハ狂犬病ナリ)
- ハ 迷視(狂犬病ノ犬ノ蠅ヲ捕ヘントスルガ如キ動作)
- ニ 眼眸(憂愁訴ヘントスルガ如キ、痲痛強直症呼吸困難)
- ホ 惡癖(齧、抗、癖等重症ニ際シ惡癖ノ消滅スルハ豫後不良ナリ)

二 悞鬱状態

- イ 意識奪失(頭ヲ垂レテ他物ニ支ヘ眼ヲ閉ザ意ヲ周圍ニ注グコトナシ)
- ロ 眩暈及失神

- ハ 昏睡(人事不省)
- ニ 精神痲鈍

配合禁忌物

配合禁忌タル各種ノ藥物ヲ同時ニ配合スルトキハ或ハ化合シ或ハ分解シ或ハ其性ヲ變シ不長ノ形狀ヲ呈シ其効力ヲ増減シ小ハ豫期ノ全効ヲ得ズ大ハ不測ノ危害ヲ招クコトアリ故ニ醫タル者ハ處方ノ際最モ注意スベキハ其ノ配合ニアリ

酸類即チ硫酸、鹽酸、硝酸、酒石酸、等ニハ亞爾加里及亞爾加里性液、醋酸、鹽類、酸化金屬等

鞣酸含有物ニハ炭酸亞爾加里重炭酸亞爾加里粘漿物、金屬鹽類石灰水蛋白質膠質格魯兒水等

亞比酸ニハ酸化鐵、石灰水、苦土等

蛋白質ニハ酒精、酸類鞣酸、昇汞等

亞拉比亞護膜ニハ過格魯兒化鐵、鉛鹽類、酒精、依的兒製了幾、硼砂等

護膜華爾斯含有物ニハ揮發油、金屬鹽類、植物水製劑、樟腦等

植物鹽基ノ鹽類ニハ沃度、鞣酸、炭酸亞爾加里及ビ土類、沃度化合物、甘草羔

水製大黃丁幾ニハ濃稠粘液、加留誤海葱丁幾等
 實斐多利斯ニハ鉛糖、鞣酸、沃度加留誤、炭酸亞爾加里等
 阿片ニハ炭酸亞爾加里、鞣酸、金屬鹽類沃度、格魯兒水、芥木髓、別刺敦那葉等
 麝香ニハ酸類酸性物、醋酸鹽、鞣酸金屬鹽等
 硝酸銀ニハ鹽物酸、植物及其鹽類、青酸、苦扁桃水沃度加留母、臭素加留母、炭酸亞爾
 加里及土類、硫黃金硫黃等
 醋酸鉛ニハ亞拉昆亞護謨、楓椰子漿、蓬刺侃篤、阿片、石灰水、炭酸鹽類、礬砂、硫酸
 鹽類、鹽酸、沃度、沃度加留母、鞣酸質等
 硝酸蒼鉛ニハ鞣酸質、金硫黃、硫黃等
 還元鐵ニハ蘆薈、植物煎汁、越幾斯、鞣酸質、金屬鹽植物鹽基類等
 鐵鹽類ニハ植物煎汁、越幾斯、鞣酸質、炭酸亞爾加里、粘液物等
 鹽化拔留誤ニハ硫酸、磷酸其鹽類、酒石酸、炭酸鹽類、藥用葡萄酒、植物煮汁等
 昇汞ニハ炭酸鹽類、石灰水、沃度加留誤、阿片、植物煎汁、鞣酸質等
 甘汞ニハ酸類、酸性鹽類、炭酸亞爾加里、石灰水、礬砂、礬砂加留香精、沃度、沃度加
 留誤、亞鉛化鐵、沃度化鐵、硫黃、金硫黃、苦扁桃及乳劑、并ニ水劑植物越幾斯等
 金硫黃ニハ礬砂加留香精、重炭酸那篤留誤、酒石、亞格魯兒化汞、硝酸蒼鉛等

吐石酒、ニハ酸類、亞爾加里類、石鹼、甘汞、鞣酸質、規那、大黃、阿片、亞拉昆亞護
 謨等

鹽化安知母組謨ニハ水液、亞爾加里性物質等

格魯兒石灰ニハ有機物、揮發油、鞣酸質、硫黃、硫化金屬等

格魯兒加爾叟謨、ニハ水、炭酸亞爾加里、植物酸亞爾加里、安母尼亞鹽類等

類、植物粘液、植物越幾斯、植物性丁幾、植物水製劑、植物煎汁、牛乳、乳劑等

抱水格魯刺兒ニハ水、炭酸亞爾加里、植物酸亞爾加里、安母尼亞鹽類等

石灰水ニハ酸類、炭類鹽類、安母尼亞鹽類、金屬鹽類、酒石酸鹽類、植物煎汁、丁幾劑、
 鞣酸質等

沃度ニハ安母尼亞、澱粉、金屬鹽、脂肪油、揮發油、乳劑、抱水格魯刺爾、炭酸土類、
 亞拉昆亞護謨、蓬刺侃篤、沙列布、亞硫酸那篤留誤等

沃度加留誤ニハ酸類、酸性鹽類、植物鹽基鹽類、硝酸銀、酸化鐵鹽、鉛鹽、汞鹽鹽素酸
 加留誤等

鹽素酸加留誤ニハ鐵酸類、有機物、硫黃炭酸類
 醋酸加留誤ハ粉劑、丸劑、錠劑トスベカラズ

過滿俺酸加留誤ニハ有機物、揮發油、酒精、備里設林、安母尼亞、安母尼亞鹽類、炭素、
硫黃等
重炭酸那篤留誤ニハ酸類、酸性鹽類、鞣酸質、金屬鹽、植物鹽基鹽類等

藥品中毒ノ症候及救急法

毒物	症候	救急療法
苛木髓製劑	牙關緊急、強直、呼吸困難等	「コロ、ホルム」吸入「抱水コロラール」「クラール」注入
麥奴製劑	流涎、惡心嘔吐、虛脫	吐劑、阿片、吐根
抱水コロラール	心臟麻痺	皮膚刺戟「ストリキニーチ」ノ皮下注入
ペラドンナ製劑	口咽乾燥、煩渴、惡心、嘔吐、皮膚乾燥、促脈、瞳孔散大	「モルヒネ」阿片、吐劑、下劑
吐根製劑	下痢、虛脫	氷片、炭酸水、阿片
銅製劑	嘔吐、痲痛、血便、痲攣、呼吸困難、裡急後重	木炭、鐵粉、卵白(但シ脂肪ヲ忌ム)
藤黃	腹痛大下痢、嘔吐	油類卵白、阿片「モルヒネ」注入
蟲類咬傷		「アンモニア」氷片、冷水濯法、鉛糖水「アルコール」

質多利斯	吐瀉、瞳孔散大、倦怠、虛脫、痲攣	吐劑、酒精「カンフル」芥子泥
磷	嘔吐、胃腸炎	帝列並油
硫化水素	假死	新鮮空氣、格魯兒吸入
蛇毒		烙鐵、石炭酸「アンモニア」
ケレオソート	胃部劇痛、嘔吐、虛脫	吐劑、石灰乳、氷片硫酸鹽類、吐劑、氷冷粘滑飲料、「カンフル」阿片
堯善製劑	惡心、尿意窘迫、血尿、生殖器刺戟症、強直性痲攣	新鮮空氣「アンモニア」溫蒸氣ノ吸入
格魯兒	聲門痲攣、血咳	人工呼吸法「ストリキニーチ」注入
コロ、フォルム	心臟麻痺、呼吸麻痺	皮膚刺戟
コカイン	昏睡、脈增加、瞳孔散大	亞硝酸「アミール」ノ嗅入
依的兒	昏睡、全身知覺脫失、心、呼吸麻痺	人工呼吸、興奮藥心痲痺ニハストリキニーチノ皮下注入
鉛化合物	口内乾燥、痲痛、伸筋痲痺	酸及磷酸「アルカリ」吐劑、下劑、阿片、溫浴
酒精	全身知覺脫失、嘔吐、瞳孔縮小、虛脫皮膚寒冷	灌水、氷浴法「アンモニア」ノ嗅入
安質母尼製劑	嘔吐、胃腸灼痛、冷汗煩渴、痲攣	多量ノ水、氷片粘滑飲料、乳汁單

甘汞	大下利、血便	卵白、乳汁、收斂藥
水銀	胃加答兒、疝痛、下利、出血性下利、口腔腎臟ノ變狀	沃度加里ノ内服、鹽剝口内洗滌
阿片製劑	昏睡、知覺運動脫失、瞳孔甚縮、時トシテハ強直	頭部氷囊、四肢溫浴、芥子泥、醋灌腸、珈琲、硫酸「アトロピチ」
亞鉛製劑	嘔吐、胃腸炎	粘滑飲料、乳汁、單寧、後阿片
菌類	胃腸炎、腦症、心麻痺	下劑、頭部氷囊、心麻痺ニハストロキニー子、アトロピン注入
狂犬毒		深腐蝕、格魯兒亞鉛「アンモニア」
砒酸	嘔吐、皮膚厥冷、軟徐脈、呼吸困難、痙攣	石灰水、コロラール、マガネシヤ
硝石	吐瀉、痙攣、小遲脈	阿片、氷水、興奮劑
失鳩答	咽頭乾燥、昏睡、呼吸麻痺	吐劑、醋灌腸、興奮藥「カフェイン」
砒石製劑	惡心、嘔吐、腹部、疼痛、下痢、皮膚寒冷脈細促、呼吸短促血尿	吐劑（皓礬）亞酸化鐵、含糖酸化鐵苦土化合物最良ハ砒石ハ解毒劑（過硫酸液百分ト冷水二百五分ヲ酸化苦土廿五分ト冷水三百五分ノモノニ和シ糜粥狀トナス）但シ亞爾加里ヲ忌ム

青酸化合物	呼吸痙攣、搐搦、知覺脫失心及呼吸麻痺青酸及青酸加里ニハ青酸ノ呼氣臭	吐劑格魯兒水、生格魯兒石灰人工又格魯兒水ニ代フルニ新製ノ水酸又鐵ト炭酸曹達ト合劑
石炭酸	胃部劇痛、嘔吐、虛脫	吐劑石灰乳、氷片、硫酸鹽類
各家畜藥品用量概算比較表		
馬	一分	
牛	一分半	
羊、山羊	二分一	
豚	五分一	
犬	十分一	
猫	二十分一	
家禽	二十五分一	
	〇、〇五	
	〇、〇四	
<p>四歳乃至五歳ヨリ全量二歳乃至三歳四分三量一歳乃至二歳全量ノ二分ノ一量トス犬猫ハ一歳半乃至二歳ヲ成長期トス</p> <p>藥品ヲ應用スル部位</p> <p>一 局所適用 三 直腸内適用</p> <p>二 胃内適用 四 靜脉内適用</p>		

- 五 皮下注射
- 七 氣管内注入
- 九 實質内注入

- 六 吸入
- 八 子宮、陰腔、膀胱内用法

藥品ノ秤量及度量表

重量ハ現今專ラ佛國ノ瓦ヲ川ユ一瓦トハ攝氏四度ノ水一立方仙迷ヲ緯度四十五度ノ海面
上ニ於テ真空間ニテ秤リタル所ノ重サナリ

- 〇、〇〇一 一密瓦 (〇、毛二六六七)
- 〇、〇〇一 一仙瓦 (二毛六六七)
- 〇、〇一 一燈瓦 (二厘六毛七)
- 一、〇一 一瓦 (二分六厘六毛七)
- 一〇、〇 十瓦或一「デガ」瓦 (二匁六分六厘七毛)
- 一〇〇、〇 百瓦或一「ヘクト」瓦 (二十六匁六分七厘)
- 一〇〇〇、〇 千瓦或一「キロ」瓦 (二百六十匁七分)

匙量其他

- 一 刀尖ハ 一瓦 一茶匙ハ 四乃至五瓦
- 一 小兒匙ハ 八乃至一〇瓦 一食匙ハ 一五瓦
- 一 酒杯ハ 一〇〇乃至一二〇瓦 一水盞ハ 一八〇瓦

容積

容積モ佛國ノ立方仙迷ヲ用ユ
一立方仙迷
百立方仙迷

英國瓦量比較

- | | | | | | |
|--------|----------|-------|----------|---|------|
| 一 グレ井ン | 氏 | 〇、〇六瓦 | 一 スクルーアル | 刃 | 一、二五 |
| 一 ドラクム | 弓 | 三、七五 | 一 オンス | 弓 | 三〇、〇 |
| 一 ホンド | 磅十二「オンス」 | 三六〇、〇 | | | |

度量

- 一「リートル」水 一〇〇〇、〇
- 一「立方仙迷」水 一〇、〇 五合五勺四

各家畜體溫表

(直勝攝氏溫)

馬	三十七、五分乃至三八、五分	牛	三八、〇乃至三八、五
犢	三八、五乃至三九、〇	羊	三九、〇乃至四〇、〇
山羊	三九、〇乃至四〇、〇	豚	三八、五乃至四〇、〇
犬	三八、五乃至三九、〇	猫	三八、五乃至三九、〇
兔	三九、〇乃至三九、五	モルモット	三八、〇乃至三九、〇

鼠	四一、〇	鳥類	四二、〇乃至四四、〇
豚	搏 數	驢馬	四六乃至五〇
羊	三六乃至四五	犏	五〇乃至六〇
牛	四五乃至五〇	山羊	六〇
馬	七〇乃至八〇	犬	九〇乃至一〇〇
豚	七〇乃至八〇	兔	一二〇乃至一五〇
貓	一二〇乃至一四〇	鼠	一二〇
鳥類	九〇		
モルモット	一一五乃至一四〇		
呼 吸 數		驢馬	一〇乃至二三
馬	九乃至一一	犏	一八乃至二〇
牛	一五乃至一九	犬	一五乃至二〇
羊	一三乃至一六	兔	五〇乃至六〇
貓	一八乃至二〇		
鼠	一〇〇乃至二〇〇		
家畜妊孕期日		(平均日數)	
馬	三百四十日	驢馬	三百六十五日

牛	二百八十日	羊、山羊	百五十日
豚	百二十日	犬	六十三日
貓	五十六日		
家畜哺乳期日			
駒	一二乃至一六週間	犏	六乃至一二週間
仔羊	八乃至一六週間	仔豚	四乃至八週間
七面鳥、鴨	三十日	鳥類ノ孵卵期	
鳩	十九日	鷄	二十一日
家畜春期初發期			
馬	一年半乃至二年	牛	十ヶ月乃至十八ヶ月
羊	六ヶ月乃至八ヶ月	豚	五ヶ月乃至八ヶ月
犬	六ヶ月乃至八ヶ月	獅子	三年
駱駝	五年		
家畜春期表			
馬	五日乃至七日間	豚	一日乃至二日間
羊	二十時間乃至三十時間		

犬 九日乃至十日

家畜春期再發期

(分娩後)

牝馬分娩後 五日乃至九日

牝牛同

二十一日乃至二十八日

牝羊同

七ヶ月

牝豚同

二ヶ月

牝犬、猫

十二週乃至十六週

三氏驗溫器計算式

列氏 $\times \frac{1}{10} + 32 =$ 華氏 (華氏 $- 32$) $\times \frac{5}{9} =$ 列氏
華氏 $\times \frac{9}{5} + 32 =$ 華氏 (華氏 $- 32$) $\times \frac{5}{9} =$ 華氏
華氏 $\times \frac{5}{9} =$ 列氏 列氏 $\times \frac{9}{5} =$ 華氏

氷點 攝氏 零度 列氏 零度 華氏 三十二度

沸騰點 攝氏 百度 列氏 八十度 華氏 二百十二度

各種丁幾ノ製法

(日本藥局方)

蘆薈丁幾

蘆薈粗末一分酒精五分ヲ取り濾過シテ製ス

苦味丁幾

中割橙皮五分中割龍膽五分莖述二分酒精百分ヲ取り製ス

橙皮丁幾

中割橙皮一分酒精五分ヲ取り製ス

カンタリス丁幾

カンタリス粗末一分酒精十分ヲ取り製ス

阿仙藥丁幾

阿仙藥粗末一分稀酒精五分ヲ取り製ス

規那丁幾

規那皮粗末一分、稀酒精五分ヲ取り十日間冷浸シ壓搾シ濾過シ製スベシ

桂皮丁幾

桂皮粗末一分稀酒精五分ヲ取り製ス

コトシホ丁幾

中割「コトシホ」根一分酒精十分ヲ取り製ス

チキタリス丁幾

中割「チキタリス」葉一分稀酒精十分ヲ取り製ス

林檎鐵丁幾

林檎鐵「エキス」一分ヲ取り酒精二分桂皮水七分ノ混液ニ溶解シ濾過シテ製ス

龍膽丁幾

中割龍膽一分酒精五分ヲ取り製ス

癒瘡木丁幾

癒瘡木粗末一分酒精十分ヲ取り製ス

ヨード丁幾

ヨード一分ヲ取り酒精十二分ニ溶解シ製ス

阿片丁幾

阿片一分稀酒精五分蒸溜水五分ヲ取り製ス

ストロファンツス丁幾

「ストロファンツス」子中末一分稀酒精十分ヲ取り製ス

蕃木鼈丁幾

蕃木鼈子粗末一分稀酒精十分ヲ取り製ス

生薑丁幾

中割生薑一分酒精五分ヲ取り製ス

家畜藥物用量表

嘔囉仿談
 依的兒
 抱水格魯爾
 スルフオナル
 酒精
 フォルマリン
 安母尼亞水
 礫砂
 杏仁水
 咖啡涅
 硝酸ストリキニチ
 阿片
 鹽酸モルヒネ

馬三〇、〇〇五〇、〇〇(一回吸入)
 大動物一〇、〇〇二五、〇〇中動物五、〇〇一〇、〇〇小動物〇、五〇二、〇〇
 大動物二五、〇〇五〇、〇〇中動物五、〇〇一〇、〇〇小動物一、五〇五、〇〇
 大動物〇、五〇四、〇〇(犬ノ催眠藥)
 大動物一〇、〇〇二〇、〇〇中動物五、〇〇一〇、〇〇小動物一、〇〇五、〇〇
 〇、一〇一、〇〇液(標本ノ貯藏藥)
 大動物五、〇〇二〇、〇〇中動物一、〇〇五、〇〇小動物〇、一〇一、〇〇
 大動物五、〇〇二〇、〇〇中動物二、〇〇五、〇〇小動物〇、一〇一、〇〇
 大動物二〇、〇〇五〇、〇〇中動物二、〇〇一〇、〇〇小動物〇、二〇二、〇〇
 大動物五、〇〇一〇、〇〇小動物〇、一〇二、〇〇
 (皮下注入)大動物〇、〇一〇、〇〇五中動物〇、〇〇二〇、〇〇五小動物〇、〇〇〇五
 動物〇、〇〇〇五〇、〇〇二〇
 大動物五、〇〇二〇、〇〇中動物一、〇〇三、〇〇小動物〇、〇五〇、〇五
 (皮下注入)大動物〇、〇四二、〇〇中動物〇、一〇〇、〇四小動物〇、〇一〇、〇四

鹽酸古加乙涅
 硫酸亞篤羅必涅
 鹽酸ピロカレヒン
 硫酸エゼリン
 鹽酸亞刺莫兒比涅
 鹽酸規尼涅
 規那皮
 アンチピリン
 結麗阿曹篤
 撒里矢爾酸
 樟腦
 シキタリス葉
 ストロファンツス丁幾

五%溶液水點眼水
 〇、〇〇五
 (皮下注入)大動物〇、〇二〇、〇一、〇中動物〇、〇一〇、〇〇五小動物
 〇、〇〇二〇、〇〇二
 (皮下注入)大動物〇、一〇〇、〇四中動物〇、〇二〇、〇〇五小動物〇、
 〇〇一〇、〇〇二
 (皮下注入)馬〇、〇五〇、一牛〇、一〇〇、二
 犬〇、〇〇二〇、〇〇五猫〇、〇二〇、〇五
 大動物一〇、〇〇二五、〇〇中動物一、〇〇五、〇〇小動物〇、一〇一、〇〇
 大動物一〇、〇〇五〇、〇〇中動物五、〇〇一〇、〇〇小動物一、〇〇五、〇〇
 大動物一五、〇〇二五、〇〇中動物二、〇〇五、〇〇小動物〇、二〇二、〇〇
 大動物五、〇〇一五、〇〇中動物一、〇〇二、〇〇小動物〇、〇五〇、〇二
 大動物二五、〇〇五〇、〇〇中動物二、〇〇一〇、〇〇小動物〇、一〇一、〇〇
 大動物五、〇〇一五、〇〇中動物一、〇〇五、〇〇小動物〇、一〇一、〇〇
 大動物二、〇〇五、〇〇中動物〇、五〇一、〇〇小動物〇、〇二〇、〇二
 馬一〇、〇〇二五、〇〇犬一、〇

麥角 大動物一〇、〇〥五〇、〇中動物二、〇〥一〇、〇小動物〇、二〥二、〇
 カミツレ花 大動物二五、〇〥五〇、〇中動物二、〇〥一〇、〇小動物〇、二〥二、〇
 アニス 大動物一〇、〇〥五〇、〇中動物二、〇〥一〇、〇小動物〇、二〥二、〇
 芥子 大動物一〇、〇〥五〇、〇中動物二、〇〥一〇、〇小動物〇、二〥二、〇
 巴豆油 大動物一五滴〥三〇滴中動物八滴〥一〇滴小動物一滴
 蓖麻子油 大動物二五〇、〇〥一〇〇〇、〇中動物五〇、〇〥二五〇、〇小動物一〇、〇〥五〇、〇
 大黃 大動物三〇〇〥五〇〇〇、〇中動物五〇、〇〥一〇〇、〇小動物五、〇〥一五、〇
 綿馬根 大動物一〇〇〇、〇〥二〇〇〇、〇中動物二〇〇〥一〇〇〇、〇小動物二、〇〥一五、〇
 珊篤寧 大動物一〇、〇〥二五、〇中動物〇、五〥五、〇小動物〇、〇〥二〇、五
 單寧酸 大動物五、〇〥二〇、〇中動物一、〇〥五、〇小動物〇、〇〥五〇、五
 食鹽 大動物二五、〇〥一〇〇〇、〇中動物五〇〥二五〇、〇動物〇、五〥二、〇
 臭素加里 大動物二〇、〇〥五〇、〇中動物二、〇〥五、〇小動物〇、二〥二、〇
 沃度加里 大動物五、〇〥一〇、〇中動物二、〇〥五、〇小動物〇、一〥一、〇

硝酸加留談 大動物一〇、〇〥二〇、〇中動物二、〇〥五、〇小動物〇、一〥〇、五
 醋酸加里 大動物五、〇〥二五、〇中動物二五、〇小動物〇、一〥一、〇
 芒硝 大動物二五〇、〇〥一〇〇〇、〇中動物五〇〥一〇〇〇、〇小動物五、〇〥三〇、〇
 人工加爾斯泉鹽 大動物二五〇、〇〥一〇〇〇、〇中動物五〇〥一〇〇〇、〇小動物五、〇〥三〇、〇
 (高利鹽) 大動物二五〇、〇〥一〇〇〇、〇中動物五〇〥一〇〇〇、〇小動物五、〇〥三〇、〇
 硫酸麻僱涅矢亞 大動物二五〇、〇〥一〇〇〇、〇中動物五〇〥一〇〇〇、〇小動物五、〇〥三〇、〇
 重碳酸曹達 大動物二五、〇〥一〇〇〇、〇中動物二〇〥二五、〇小動物〇、二〥一、〇
 硼酸那篤留談 大動物一〇、〇〥二五、〇中動物二、〇〥一〇、〇小動物〇、五〥二、〇
 石灰水 大動物一〇〇〇、〇〥二〇〇〇、〇中動物二五〇〥五〇〇〇、〇小動物一〇、〇〥五〇、〇
 硫黃華 大動物二、〇〥五、〇中動物〇、五〥一、〇小動物〇、五〥五〇、一
 稀鹽酸 大動物一〇、〇〥三〇、〇中動物二、〇〥五、〇小動物〇、二〥二、〇
 亞砒酸 大動物〇、一〥〇、五中動物〇、〇〥一〇、〇五小動物〇、〇〥一〇、〇

亞硫酸加里水
吐酒石
金硫黃
甘汞

〇〇五
大動物一〇、〇〇五、〇中動物一、〇〇五、〇小動物〇、一〇〇、五
大動物〇、五〇二、〇中動物〇、二〇〇、五小動物〇、〇〇五〇〇〇五
大動物一〇、〇〇二、〇中動物二、〇〇五、〇小動物〇、〇一〇〇、五
馬二、〇〇八、〇中動物一、〇〇四、〇小動物〇、〇五〇〇、二

皮下注入藥ノ用量

鹽酸モルヒネ

一 二付二五ノ蒸留水溶液ヲ用ユ

馬〇、三〇〇、六牛〇、六〇一、〇犬〇、〇一〇〇、〇八(鎮痙)

鹽酸ピロカルピン

一 二付五〇ノ蒸留水溶液トナシ用ユ

馬〇、一〇〇、二牛〇、二〇〇、四豚、羊〇、〇二〇〇、〇三犬〇、〇〇

五〇〇、〇二

發汗トシテハ馬〇、五〇〇、八

瀉下劑トシテハ馬〇、五牛八〇、五〇一、五

一 二付一〇ノ蒸留水溶液ヲ用ユ

馬〇、〇六〇〇、一牛〇、一〇〇、二小動物〇、〇一〇〇、〇五

硫酸エゼリン

鹽酸アポモルヒネ

一 二付五〇ノ蒸留水溶液ヲ用ユ

犬(吐劑)〇、〇〇二〇〇、〇一

硫酸アトロピネ

莫兒比涅中毒ノ解毒藥トシテ馬〇、〇五〇〇、一犬〇、〇〇五〇〇、〇

二牛〇、〇五〇〇、一羊、山羊〇、〇一〇〇、〇五

物拉篤利涅

牛馬ノ痲質斯神經衝動藥牛馬〇〇五〇〇、二

硝酸ストリキニーチ

水溶液ヲ用ユ

馬〇、〇五〇〇、一牛〇、〇〇一〇〇、〇〇一〇〇、〇〇三

樟腦油、樟腦精

牛馬五〇〇、〇羊豚二、〇〇一〇〇、〇犬二、〇〇五、〇猫〇、五〇一、〇

獸醫免許規則

(明治三十三年八月二十七日)
法律第七十六號

第一條 獸醫ノ開業ハ農商務大臣ヨリ獸醫免狀ヲ受ケタルモノニ限ル

第二條 獸醫免狀ヲ受クルコトヲ得ル者左ノ如シ

一 獸醫免許試驗ニ合格シ其證書ヲ有スル者

一 官立府縣立ノ獸醫學校若クハ農學校ニ於テ獸醫學ヲ專修シ其卒業證書ヲ有スル者

一 公立又ハ私立學校ニ於テ農商務大臣ノ認可シタル學則ニ依リ獸醫學ヲ專修シ其卒業證書ヲ有スル者

一外國ニ於テ官立府縣立ノ獸醫學校若クハ農學校ト同等以上ノ學則ニ依リ獸醫學ヲ專修シ其卒業證書ヲ有スル者

第三條 第二條ノ資格ヲ有スル者ニシテ獸醫免狀ヲ受ケント欲スルトキハ試驗及第證書又ハ卒業證書ノ寫ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ農商務大臣ニ出願スヘシ

第四條 獸醫免狀ヲ受ケタル者ノ氏名本籍ハ農商務省ノ獸醫籍ニ登錄シ之ヲ公告スヘシ

第五條 獸醫廢業シタルトキハ本人ヨリ死亡シタルトキハ其遺族又ハ親戚ヨリ三十日以内ニ地方廳ヲ經由シテ其免狀ヲ農商務省ニ返納スヘシ

第六條 獸醫免狀ヲ受ケル者ハ其免狀下附ノトキ手数料トシテ金一圓ヲ納ムヘシ

第七條 獸醫免狀ヲ毀損亡失シ若ハ氏名本籍ヲ變換シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ地方廳ヲ經由シテ免狀ノ書換ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ

書換ノ免狀ヲ受ル者免狀下付ノトキ手数料トシテ金五十錢ヲ納ム可シ

第八條 獸醫業ニ關シ犯罪若クハ不正ノ行爲アリタルトキハ農商務大臣ハ情狀ヲ參酌シ五日以上五十日以下ノ範圍内ニ於テ其ノ業ヲ停止シ情狀ノ最モ重キモノハ之ヲ禁止スルコトアルヘシ

第九條 第八條ノ禁止ノ處分ヲナシタルモノト雖モ三年ヲ經過シタル後情狀ニ由リ其ノ禁止ヲ解クコトアルヘシ

禁止ヲ解レタルモノニシテ再ヒ獸醫免狀ヲ受ケント欲スルモノハ第三條及第六條ニヨルヘシ

第十條 免狀ヲ受ケスシテ獸醫ノ業ヲナシタルモノハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 獸醫業停止中其ノ業ヲナシタルモノハ二圓以上二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 獸醫正當ノ事由ナリシテ其ノ業ニ關シ他人ノ依頼ヲ拒ミタルトキハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十三條 獸醫免許試驗規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附 則

第十四條 獸醫ニ乏シキ地ニ於テハ當分ノ内北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニヨリ農商務大臣ハ第二條ノ資格ナキモノト雖モ出願者ノ履歷ニ由リ營業區域及其ノ年限ヲ定メ獸醫免狀ヲ授與スルコトアルヘシ

第十五條 第十四條ニ依リ獸醫免狀ヲ受ケタルモノニモ亦此規則ヲ適用ス

第十六條 明治十八年第十七號布達獸醫開業試驗規則其ノ他此ノ法律ニ抵觸スル規定ハ總テ廢止ス

(參 照)

登 録 稅 法

(明治二十九年三月) 法律第二十七號 拔萃

第八條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スル時ハ醫師藥劑師獸醫蹄鐵工ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一新規登録

醫師

金二十圓

藥劑師

金十二圓

獸醫

金十二圓

蹄鐵工

金五圓

假開業醫師

金五圓

假免許獸醫

金三圓

二登録事項ノ變更 每一件金五十錢

第二十條 本法ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

第二十一條 現行法律命令ニ規定スル登記料又ハ手数料等ニシテ本法ニ規定スル登録稅ト重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

獸醫免許試驗規則

(明治二十三年九月二日 農商務省令第十一號)

第一條 試驗ノ科目ハ左ノ如シ

一家畜解剖學

一同 生理學

一同 藥物學

一同 內科學及其實地

一同 外科學及其實地

一同 蹄鐵學及其實地

第二條 試驗法ハ筆記及實地ノ二様トシ實地試驗ハ筆記試驗ヲ終タル後之ヲ行フ但シ時宜ニ由リ口述試驗ヲ以テ實地ニ代ルコトアルヘシ

第三條 試驗ハ毎年二回之ヲ行ヒ其場所及期日ハ六月十二月告示スヘシ

第四條 農商務大臣ハ試驗主事及委員ヲ選定シテ試驗ヲ行ハシム

第五條 試驗ヲ受ケント欲スルモノハ住所族籍生年月及受験地名ヲ願書ニ記載シ修學歷

歷書ヲ添ヘ一月若クハ七月中其ノ居住ノ地方廳ヲ經由シテ農商務大臣ニ差出ヘシ

第六條 受験者ハ試驗期日三日前受験地宿所ヲ其ノ地方廳ニ届出ツヘシ

第七條 試驗及第者ニハ試驗主事ヨリ及第證書ヲ附與スヘシ

第八條 不正ノ方法ヲ以テ及第シタルトキハ及第ノ効ナキモノトス

附 則

第九條 第十回獸醫免許試験ニ限リ家畜ノ解剖學、生理學、藥物學、內科學、外科學、ニ就キ筆記試験ヲ行フ

農商務省訓令第四十四號

北海道廳府縣

明治二十三年八月法律第七十六號獸醫免許規則第十四條ノ獸醫假免許手續左ノ條項ニ依リ取扱フヘシ

但明治十九年十二月當省訓令第二十一號假開業獸醫免許手續ハ廢止ス

明治二十三年九月二日

獸醫假免許手續

- 第一條 獸醫假免許ノ下付ヲ願出ツルモノアルトキハ左ノ事項ヲ取調本人願書及履歷書ヲ添ヘ具狀スヘシ
 - 一營業區域ノ廣袤及地勢ノ峻夷
 - 一區域内牛馬ノ頭數
 - 一營業年限
- 第二條 獸醫假免許下付ノ出願ニ係ル細則ハ北海道廳長官府縣知事之ヲ定ムヘシ

農商務省訓令第三十九號

北海道廳府縣

獸醫開業免狀同假開業免狀下付願書及開業試驗願書ハ自今副本差出スニ及ハス
明治二十二年十一月二日

農商務省告示第十五號

開業獸醫(假開業獸醫ヲ除ク)ニシテ明治二十二年十二月二日以後轉居セシモノハ其都度直ニ當省農務局ニ届出ツヘシ

明治二十二年十一月三十日

蹄鐵工免許規則

(明治二十三年四月三日) 法律第三十一號

- 第一條 蹄鐵工ハ農商務大臣ヨリ蹄鐵工免狀ヲ受ケタルモノニ限ル
蹄鐵工トハ他人ノ依頼ニ應シ蹄鐵ヲ裝シ又ハ蹄ヲ剪ルヲ以テ其ノ業トナスモノヲ謂フ
- 第二條 蹄鐵工免狀ヲ受クルコトヲ得ルモノ左ノ如シ
 - 一蹄鐵工免許試験ニ合格シ其及第證書ヲ有スルモノ
 - 一官立府縣立ノ農學校若クハ獸醫學校又ハ陸軍部内ニ於テ獸醫學又ハ蹄鐵學ヲ專修シ其卒業證書ヲ有スル者
 - 一公立又ハ私立學校ニ於テ農商務大臣ノ認可シタル學則ニヨリ獸醫學又ハ蹄鐵學ヲ專修シ其卒業證書ヲ有スル者

一外國ニ於テ官立府縣立ノ農學校若ハ獸醫學校ト同等以上ノ學則ニヨリ獸醫學又ハ蹄鐵學ヲ專修シ其卒業證書ヲ有スルモノ

一獸醫開業免狀ヲ有スル者但獸醫假免狀ヲ有スルモノヲ除ク

第三條 第二條ノ資格ヲ有スルモノニシテ蹄鐵工免狀ヲ受ケント欲スル時ハ試驗及第證書又ハ卒業證書若ハ獸醫開業免狀ノ寫ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ農商務大臣ニ出願スヘシ

第四條 蹄鐵工免狀ヲ受ケタル者ノ氏名本籍ハ農商務省ノ蹄鐵工籍ニ登錄シ之ヲ公告スヘシ

第五條 蹄鐵工廢業シタル時ハ本人ヨリ死亡シタル時ハ其遺族又ハ親戚ヨリ三十日以内ニ地方廳ヲ經由シテ其ノ免狀ヲ農商務省ニ返納スヘシ

第六條 蹄鐵工免狀ヲ受ケタルモノハ其免狀下付ノ時手数料トシテ金一圓ヲ納ムヘシ

第七條 蹄鐵工免狀ヲ毀損亡失シ若ハ氏名本籍ヲ變換シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ地方廳ヲ經由シテ免狀ノ書換ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ

書換免狀ヲ受クル者ハ免狀下付ノ時手数料トシテ金五十錢ヲ納ムヘシ

第八條 蹄鐵工ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ業ニ關シ他人ノ依頼ヲ拒ムコトヲ得ス

第九條 免狀ヲ受ケスシテ蹄鐵工ノ業ヲナシタルモノハ二圓以上二十五圓以下ノ罰金ニ

處ス

第十條 第八條ヲ犯シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十一條 蹄鐵工免許試驗規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附 則

第十二條 蹄鐵工ニ乏シキ地ニ於テハ當分ノ内北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニ依リ農商務大臣ハ第二條ノ資格ナキモノト雖モ出願者ノ履歷ニ依リ營業區域及年限ヲ定メ蹄鐵工假免狀ヲ授與スルコトアルヘシ

第十三條 第十二條ニ依リ蹄鐵工假免狀ヲ受ケタルモノニモ亦此規則ヲ適用ス

第十四條 此規則施行以前免許ヲ受ケタル獸醫ニシテ蹄鐵工ヲ兼テシテ欲スルモノハ第三條ニ依リ蹄鐵工免狀ノ下付ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ其ノ免狀ヲ受ケタルモノハ第六條ノ手数料ヲ要セス

第十五條 此ノ規則ハ明治二十三年十月一日ヨリ施行ス

蹄鐵工免許試驗規則

(明治二十三年七月十九日) 農商務省令第六號

第一條 蹄鐵工免許試驗ハ蹄鐵ノ學術ニ就キ筆記口述及實地ヲ以テ之ヲ行フ

第二條 試驗ハ毎年二回之ヲ行ヒ其ノ場所及期日ハ六月十二月告示スヘシ

第三條 農商務大臣ハ試験主事委員ヲ選定シテ試験ヲ行ハシム

第四條 試験ヲ受ケント欲スルモノハ住所族籍生年月及受験ノ地名ヲ願書ニ記載シ一月若ハ七月中其居住ノ地方廳ヲ經由シテ農商務大臣ニ差出スヘシ

第五條 受験者ハ受験期日三日前受験地ノ宿所ヲ其地方廳ニ届出スヘシ

第六條 試験及第者ニハ試験主事ヨリ及第證書ヲ附與スヘシ

第七條 不正ノ方法ヲ以テ及第シタル時ハ及第ノ効ナキモノトス

農商務省訓令第三十八號

北海道廳府縣

明治二十三年四月法律第三十一號蹄鐵工免許規則第十二條ニ據リ蹄鐵工假免狀ノ下付ヲ出願スルモノアル時ハ左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

明治二十三年七月十九日

蹄鐵工假免許手續

第一條 蹄鐵工假免狀ノ下付ヲ出願スルモノアルトキハ蹄鐵工乏シキ地ニ限り左ノ事項ヲ取調本人ノ願書及履歷書ヲ添へ具狀スヘシ

- 一 區域廣袤地勢及馬匹頭數
- 一 營業年限

第二條 假免狀下付ノ出願ニ係ル細則ハ北海道廳長官府縣知事之ヲ定ムヘシ

農商務省訓令第五十二號

北海道廳府縣

蹄鐵工免狀同假免狀下付願書及免許試驗願ハ副本ヲ差出スニ及ハス

明治二十三年九月十九日

農商務省令第十八號

本年八月法律第七十六號獸醫免許規則第二條第三項及同年四月法律第三十一號蹄鐵工免許規則第二條第三項ニ依リ學則ノ認可ヲ請ハント欲スルトキハ左ノ條件ヲ具備シタル願書ニ學校名學校位置及地方廳ヨリ學校設立ヲ認可シタル年月日ヲ記入シ教員ノ族籍氏名年齢及履歷書ヲ認メタル書類學則及學科授業時間表等ヲ添附シ其校長又ハ校主名ヲ以テ地方廳ヲ經由シ農商務大臣ニ差出スヘシ

但學則ノ認可ヲ受ケタル學校ノ校長又ハ校主ハ其ノ學校ノ卒業試驗終了ノ後十五日以内ニ地方廳ヲ經由シ卒業者ノ族籍氏名年齢及最終學期ノ試験成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

明治二十三年十一月一日

一 教員ノ數及資格

一 獸醫學校教員ハ三名以上トシテ内少クモ一名ハ農科大學獸醫學本科元東京農林學校
獸醫學本科若クハ元駒場農學校獸醫學本科ヲ卒業シタルモノ又ハ之ト同等以上ノ學
力ヲ有スル者

一 蹄鐵學教員ハ二名以上トシ内一名ハ農科大學獸醫學本科元東京農林學校獸醫學本科
若ハ元駒場農學校獸醫學本科ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

二 學科目

一 獸醫學校學科

動植物學及理化學
病理學通論
解剖學及其ノ實習
生理學
藥物學
內科學
外科學
產科學
動物疫論及警察法

病體解剖學及其實習
家畜飼養法蕃殖法及衛生論
蹄鐵學及其實習
治療法實習

一 蹄鐵學校學科

撰鐵鍛鍊造蹄鐵及造蹄釘法實習
蹄鐵學及其實習
蹄ノ解剖生理及病理論
家畜衛生論

三 修學年限

一 獸醫學校滿三年以上
一 蹄鐵學校滿一年以上

臺灣獸醫免許規則 (明治三十三年二月二日)
(臺灣總督府令第八號)

第一條 獸醫ハ農商務大臣ヨリ獸醫免狀ヲ得タル者及臺灣總督ヨリ獸醫免許證ヲ得タル
モノトス

- 第二條 農商務大臣ノ獸醫免狀ヲ有スルモノ開業セントスルトキハ開業ノ場所ヲ定メ該免狀ヲ添ヘ地方廳ニ願出ツヘシ
- 第三條 獸醫免許證ノ下付ヲ受ケントスルモノハ願書ニ履歷書ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ臺灣總督ニ願出ツヘシ
- 第四條 獸醫免許證ハ檢定委員ノ檢定ニヨリ臺灣總督之ヲ下付ス臺灣總督ニ於テ必要ト認ムルトキハ試験ヲ行フコトアルヘシ
- 第五條 獸醫免許證ヲ毀損亡失シ若ハ氏名本籍ヲ變換シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ地方廳ヲ經由シテ免許證ノ再下付又ハ書換ヲ願出ツヘシ
- 第六條 獸醫免許證ノ下付ヲ受ケントスルモノ又ハ再下付若クハ書換ヲ請フモノハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ
 - 一 獸醫免許證ノ下付 金三圓
 - 二 獸醫免許證ノ再下付又ハ書換 金一圓
- 第七條 農商務大臣ノ獸醫免狀ヲ有スルモノ免狀記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ地方廳ヲ經由シテ臺灣總督ニ届出ツヘシ
- 第八條 獸醫開業シタル時又ハ住所ヲ轉シタルトキハ其ノ都度地方廳ニ届出ツヘシ
- 第九條 獸醫廢業シタル時ハ本人ヨリ死亡シタルトキハ遺族ヨリ遺族ナキ時ハ寄留所主

- 宰者ヨリ三十日以内ニ地方廳ヲ經由シテ臺灣總督ニ獸醫免許證ヲ返納スヘシ但シ獸醫免狀ヲ有スル者ニ在リテハ其旨届出ヘシ
- 第十條 獸醫其ノ業務ニ關シ犯罪若クハ不正ノ行爲アルトキハ臺灣總督ハ其ノ業務ヲ停止若クハ禁止スルコトアルヘシ
- 獸醫免許證ヲ有スルモノ禁止ノ處分ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ地方廳ヲ經由シテ臺灣總督ニ獸醫免許證ヲ返納スヘシ其停止處分ニ係ルモノハ其期間ヲ免許證ニ裏書シ之ヲ下付スヘシ
- 第十一條 農商務大臣ヨリ獸醫業ヲ停止セラレタル者ハ其期間業務ヲ停止セラレタルモノトス
- 第十二條 獸醫免許證ヲ受ケス又ハ第二條ニ依リ臺灣總督ノ許可ヲ受ケスシテ獸醫ノ業ヲナシタルモノハ二十五圓ノ罰金ニ處ス
- 第十三條 獸醫業務停止中其ノ業ヲナシタルモノハ十五圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第十四條 獸醫正當ノ事由ナクシテ其ノ業ニ關シ他人ノ依頼ヲ拒ミタルトキハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
- 第九條及第十條第二項ニ依リ獸醫免許證ヲ返納セサルモノ罰前項ニ同シ
- 第十條 此ノ規則ハ明治三十三年六月一日ヨリ施行ス

附 則

第十六條 此ノ規則ハ本島人ニシテ從來獸畜ノ治療ヲ業トスルモノ及創業ヲ營ム者ニ適用セス

陸軍軍馬撰定規則 (明治三十年十一月十六日 陸達第五百一十一號)

陸軍軍馬撰定規則左ノ通定ム

但明治十九年達乙第十一號軍用乘馬資格ヲ廢止ス

陸軍々馬撰定規則

第一條 此ノ規則ハ民有ノ馬匹(幼馬ハ除ク)ヲ購買徵發又ハ検査スルニ方リ該馬匹ノ撰定上據ルヘキ標準ナキナ概示スルモノトス

第二條 軍馬(用役ノ如何ヲ問ハス)ニ撰定ノ標準ハ左ノ如シ

- 一 性質溫順伶俐ニシテ常物良ク惡癖ナキコト
- 二 強健ニシテ持久力アルコト
- 三 眼ニ故障ナキコト
- 四 前膊臂及脛ノ筋肉良ク發育スルコト
- 五 關節大ニシテ力アルコト

- 六 蹄ノ質堅牢ナルコト
- 七 四肢ノ鍾直正シキコト
- 八 年齡概ネ五歳以上タルコト

第三條 騎兵乘馬ニ撰定ノ標準ハ第二條ノ外左ノ如シ

- 一 悍威アルコト
- 二 頭輕クシテ其ノ位置正シク眼大ニ耳縮長キコト
- 三 頭長クシテ力アリ其傾斜良キヲ得ルコト
- 四 鬣甲良ク發育シ適當ニ延ルコト
- 五 肩長クシテ斜ニ其運動自由ナルコト
- 六 背直ク廣クシテ力アルコト
- 七 腰短クシテ其前後ノ結合良キコト
- 八 尾ノ附高キコト
- 九 胸前良ク發育シ肋豐圓ナルコト
- 十 喉充實スルコト
- 十一 四肢高キニ過キササルコト
- 十二 腿鮮明ニシテ堅牢ナルコト

- 十三 繫長ニ過キサレコト
- 十四 肉締良キコト
- 十五 歩輕ク度クシテ正シキコト
- 十六 體尺約子四尺八寸以上尺二寸以下タルコト
- 第十四條 砲兵乘馬ニ撰定ノ標準ハ砲兵輓馬ニ同シ
- 第十五條 輜重乘馬及憲兵乘馬ニ撰定ノ標準ハ概子騎兵乘馬ニ準ス但體尺ハ約子四尺七寸以上トス
- 第十六條 砲兵輓馬ニ撰定ノ標準ハ第二條ノ外左ノ如シ
 - 一 稍悍威アルコト
 - 二 背長クシテ力アルコト
 - 三 腰廣クシテ力アルコト
 - 四 尻廣ク長クシテ力アルコト
 - 五 胸前廣キコト
 - 六 歩廣クシテ正シキコト
 - 七 體尺約子四尺八寸以上五尺四寸以下タルコト
- 第十七條 輜重輓馬ニ撰定ノ標準ハ概子砲兵輓馬ニ準ス但シ體尺ハ約子四尺七寸以上九寸

以下トス

- 第八條 砲兵駄馬ニ撰定ノ標準ハ第二條ノ外左ノ如シ
 - 一 體ノ幅廣キコト
 - 二 鬣甲濃厚ニシテ突起セサルコト
 - 三 背短クシテ力アリ背線突起セサルコト
 - 四 歩確實ナルコト
 - 五 體尺約子四尺六寸以上八寸以下タルコト
- 第九條 輜重駄馬ニ撰定ノ標準ハ概子砲兵駄馬ニ準ス
- 第十條 將校乘馬(相當官用ヲモ含ム)ニハ騎兵乘馬ニ撰定ノ標準(體尺ノ上限ハ除ク)トシテ示シタル條件ヲ具ヘ且ツ品位優等ノ馬匹ヲ以テ之ニ充ツ但シ職務ニ由リテハ輜重乘馬及憲兵乘馬ニ撰定ノ標準トシテ示シタル條件ヲ具ヘル馬匹中品位優等ノモノヲ以テ之ニ充ツルモ妨ケナシトス
- 第十一條 毛色ノ撰定ハ左ニ依ルヘシ
 - 一 騎兵隊ノ爲メニ鹿毛栗毛及青毛ノ三種トス
 - 二 砲兵隊ノ爲メニハ白ク目立易キ毛ヲ除クコト
- 第十二條 第二條以下各條ニ掲ル標準ハ購買徵發又ハ検査ヲ命スルモノ、場合ニヨリ適

宜之ヲ斟酌スルコトヲ得

馬匹去勢術練習生規則 (明治三十五年二月二十二日) (農商務省令第二號)

- 第一條 馬匹去勢術練習生ハ年齡滿十八歳以上四十歳以下ニシテ獸醫免許規則第二條ノ資格ヲ有スル者ヨリ試験ノ上採用スル者トス
- 第二條 練習生ノ募集及試験ニ關スル手續ハ地方長官ヲシテ之ヲ行ハシム
試験ニ由リ採用スヘキ人員試験ノ期日及場所ハ地方長官之ヲ公告ス
- 第三條 練習生ヲ志願スル者ハ制規ノ願書ニ履歷書獸醫免許規則第二條ノ資格ヲ證明スルニ足ル書面及醫師ノ體格檢定書ヲ添付シ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ差出スヘシ
- 第四條 練習生ハ軍馬補充部ニ委託シテ修業セシム修業期ハ每年春夏ノ交二ヶ月ヲ期トシ二期ヲ以テ終ルモノトス但時宜ニ由リ之ヲ縮伸スルコトアルヘシ
- 第五條 練習生ニハ修業期中一ヶ月金二十圓以内ノ手當ヲ支給ス但シ旅費ハ之ヲ支給セズ
- 第六條 練習生規則命令ニ違背シ又ハ成業ノ見込ナシト認ムル時ハ之ヲ免スヘシ
- 第七條 練習生修業ヲ了ヘタル時ハ其成績ヲ考查シ修業證書ヲ交付スヘシ

第八條 練習生ハ修業證書ヲ受ケタル後三年間農商務大臣ノ指定スル所ニ從ヒ去勢技術者トシテ奉職スル義務ヲ有ス

第九條 左ノ場合ニ於テハ修業期中支給シタル手當金ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトアルヘシ

- 一 修業中自己ノ便宜ニ由リ練習生ヲ辭シタルトキ
 - 二 第六條ニ由リ練習生ヲ免セラレタルトキ
 - 三 第八條ノ義務ヲ履行セサルトキ
 - 四 奉職義務年限中懲戒ニ由リ免官又ハ免職セラレタルトキ
- 書式 馬匹去勢術練習生志願書

私儀馬匹去勢術練習生志願ニ付キ御試験ノ上御採用相成度修業中及修業後ハ馬匹去勢術練習生規則及其他ノ御命令堅ク遵守可致且本人身上ニ關スル件ハ保證人ニ於テ一切引受可申此段運署ヲ以テ相願候也

年 月 日

族籍住所職業子弟
願 人 氏 名
族籍住所職業

農商務大臣宛

保證人 氏 名

内務省令第四十六條 (明治三十三年十月二十日)

明治三十三年四月内務省令第十五號牛乳營業取締規則第五條第二號牛乳中ニ移行スヘキ毒藥劇藥處方ニ關スル件左ノ通り定ム

第一條 牛乳中ニ移行スヘキ毒藥及劇藥品目左ノ如シ

石炭酸

安知母紐膜鹽類

砒素及其ノ化合物

銅鹽類

越攝林涅斯篤利幾尼涅其他「ノアルカロイド」及其鹽類

非沃斯草

別刺敦那草

水銀鹽類

沃度加留謨

阿片

鉛鹽類

藜蘆根

蕃木鼈子

亞鉛鹽類

以上ノ藥品ヲ含有スル諸製劑

第二條

獸醫前條毒藥劇藥ヲ處方シタルトキハ其旨ヲ牛乳營業者ニ告知スヘシ

第三條

獸醫前條ニ違背シタルモノハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

回診餘錄

一月 一日は宮中に於て四方拜を行はせられ皇太宮以下天神地祇神武天皇御陵氷川神社

鹿島香取神宮を拜し給ひて賢所皇靈神殿御拜あり

三日は元始祭にて宮中に於て賢所皇靈殿を祭らせ給ひ皇祖太神元始の靈徳に報賽し奉

る重大なる御祭儀なり

四日は政治始

五日は新年宴會

七日に御講書始め本日門松を撤す

八日は陸軍始

三十日は孝明天皇祭

元日 (右大臣實朝)

さけ見れば山も霞みて久方の

天の原より春は來にけり

新年 (大槻清崇)

月々松篁瑞霏多 女兒游戲趁春和

晴階交鬪彩毬影

唱出新年第一歌

同 (宗 因)

新春の御慶は古き言葉かな

二月 十一日は紀元節

春立ける日 (源俊賴)

春のくるあしたの原を渡せば

霞もけふぞ立初めにける

立 春 (張 拭)

律回歲晚冰霜少。春到人間草木知

便覺人間生意滿。東風吹水綠參差

初午や一日限の作り庭 (水壺)

梅の花香ながら寫す筆も哉 (細巴)

三月 春分の日を以て宮中にては春季皇親祭を行はせられ民間にも佛事を營む

○海には汐干狩山野には若草彼岸櫻初霞など春の長閑も追々佳境に入る

霞 見渡せば明石もすまも霞して

いづれなるらんをのが浦々

四月 三日は神武天皇祭

櫻桃を始め百花爛漫鳥歌ひ蝶舞ひ野に山に遊人雜踏實に一年の好時節なり

櫻 (清輔)

吉野山峰つゞきみし花ざくら

一木かすみに咲きみちけり

五月 本月上旬より夏となる

菖蒲、躑躅、牡丹、藤の花等開き一味新涼心身を爽かにして新翠滴るが如く螢火點々
晚風殊に好し

六日は靖國神社大祭出雲大社大祭は十四日

下旬漸次暑氣の候に際すれば飲料水其他衛生に注意すべし

夏

から衣きつゝなれにし花の色に

かへむ秋の名こそをしけれ

六月 上旬より梅雨に入る梅の實の熟する頃なれば此の名あり

花菖蒲咲く頃田植の盛時とす

夏 月 (源 親 房)

玉くしげふた上山の木の間より

出ればあくる夏の夜の月

雨ほる／＼曾我中村の田植哉 (蕪村)

七月 十三日より孟蘭盆なれば各所の寺院念佛讀經あり

衛生に尤も注意を要する季なり

夕 立 (隣女)

夏の日のかげるふをちの峰づたい

よそに過行く夕立の雲

行水の捨所なし虫の聲 (鬼貫)

八月 立秋の日より秋なり

二百十日は立春より數へて第二百十日目の日にて農家にて大厄日とす

立 秋 (參議經郷)

夏の夜はみじかき蘆のふしの間に

いつしかかかはる秋の初風

その親を知りぬ其の子は秋の風 (支考)

九月 秋分の日秋季皇靈祭を行はる

十五夜の觀月は此の月の下旬に當る秋の野邊虫聲爽かに白露清し萩桔梗女郎花等の秋の七草も今を盛りと咲き亂れ朝夕の氣候轉だ清冷なり

女郎花 (藤原基俊)

あだし野の心もしらぬ秋風に

哀れあたる女郎花かな

秋夜獨坐 (藤田東湖)

金風颯々蟬群陰。玉露轉々淵萬林

獨坐三更天地靜。一輪明月照丹心

月涼し心止むれば川の音 (暉雪)

十月 十七日神嘗祭さて新穀を伊勢大廟に薦め玉ふ祭儀なり

秋寂び漸く佳季に入る菊花の満盛は下旬よりなり

菊 (藤原隆祐)

いろかばる干草の花は散り果て、

籬に残る秋のしら菊

秋の雨人は何して暮すやら (五橋)

十一月 立冬よりは冬に入る 三日は天長節

冬 家 (家持)

神無月時雨にあへるもみぢげの

吹くは散なん風のまに

十二月 二十五日以後注連飾松竹などの用意すべし煤拂ひ餅つき歳暮の回禮進物なども

三十一日迄に済ますべし

歳 暮 (深守法親王)

過易きひのくま川の年の暮

水かふ駒のとまる瀬もなし

袴着ぬ聳入りもあり年の暮 (季曲)



郵便、電信料及郵便電信爲替料

● 通常郵便

- 第一種 書 状 重量四匁又は其端數毎に 金 參 錢
- 第二種 郵便葉書 一 通常葉書 金 壹 錢 五 厘
- 二 往復葉書 金 參 錢
- 三 封緘葉書 金 參 錢
- 第三種 毎月一回以上刊行する定期刊行物 重量廿匁又は其端數毎に 金 五 厘
- 第四種 書籍、印刷物、業務用書、寫眞、書、畫、重量三十匁又 金 貳 錢
- 第五種 農産物種子 重量二十匁又は其端數毎に 金 壹 錢
- 書 留 手數料 金 參 錢
- 配達證明手數料 金 拾 錢

別配達料 一箇に付

市内 市の郵便区内に配達するときは差出者指定の配達局の宛地所
 市外 市の郵便区外の里程に應じ一里迄毎に金拾五錢を加徴し船料
 他郵便区内に配達するときは差出者指定の配達局の宛地所
 轉の郵便局との里程に應じ一里迄毎に金拾五錢を加徴し船料
 市内市外に拘らず其實費を受取人より徴收し受取人納付せざ
 る時は差出人より追徴す○別配達郵便物は其表面見易き場所
 別配達又は何局別配達を記入すべし
 着信局より郵便にて遞送せる電報は其郵便税
 別使又は解船にて配達する電報は手數料一通毎に貳拾錢
 但別便にして着信局より三里に超ゆるものは二里以内に貳拾五錢を増す島嶼に宛てた

る電報にして別便にて配達するものは貳拾錢とし其配達實費之に超ゆるときは實費とす

郵便及電信爲替

郵便爲替	拾圓迄	六錢	貳拾圓迄	貳拾圓迄	參拾圓迄	拾五錢
電信爲替	拾圓迄	拾八錢	貳拾圓迄	貳拾圓迄	參拾圓迄	拾五錢
電信爲替	拾圓迄	參拾錢	貳拾圓迄	貳拾圓迄	參拾圓迄	四拾錢
電信爲替	拾圓迄	四拾五錢	貳拾圓迄	貳拾圓迄	參拾圓迄	四拾錢
小爲替	五圓以下	參錢	貳拾圓迄	貳拾圓迄	參拾圓迄	四拾錢

小包郵便料

一書留小包郵便物ノ損害賠償額左ノ通り
 一亡失ノトキ重量二百匁迄二圓、二百匁又ハ其端數毎ニ一圓ヲ加フ
 一毀損ノトキ重量二百匁迄零圓、二百匁又ハ其端數毎ニ五十錢ヲ加フ
 一内地ノ臺灣、樺太、相互間ノ小包郵便物賠償額ハ百匁又ハ其端數毎ニ二十錢

○内地小包郵便物料
 同一郵便區内 普通四錢 書留八錢
 普通二百匁迄 四百匁迄 六百匁迄 八百匁迄
 書留十二錢 十八錢 廿四錢 三十錢
 同一郵便區外 普通八錢 書留十二錢
 普通二百匁迄 四百匁迄 六百匁迄 八百匁迄
 書留十八錢 廿四錢 卅六錢 卅六錢

卅六錢 四十二錢 四十八錢 五十四錢
 ○内地ト臺灣、樺太、清、韓、三國間小包郵便料
 二百匁迄三十錢 四百匁迄三十五錢 六百匁迄四十錢 九百匁迄五十錢 一貫三百匁迄六十錢 一貫五百匁迄七十錢 但シ臺灣、樺太、清、韓、各國内ニ發着スル小包郵便料金ハ内地小包郵便料金ニ同シ

小包郵便物制限

容積	重量	登記價格
長厚幅共 曲尺二尺	一貫五百匁	百五十圓

但幅及厚各五寸以内ノモノハ長三尺ヲ限リ差出スコトヲ得

貨幣度量衡内外比較表

(貨幣) 新金貨換算		(備考) 參拾八錢七厘	
ポンド(英)	九圓七拾六錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
マルク(獨)	四圓七拾七錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
リラ(伊)	參圓七拾八錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
クロイ子(瑞典、諾、丁)	四圓七拾八錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
ミルライイ(葡)	五圓七拾八錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
ビヤステル(土)	貳圓七拾八錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
ドラス(北米)	八圓七拾八錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
フロラ(佛、白、瑞西)	參圓七拾八錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
クローネ(奧)	四圓七拾八錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘
フリネ(蘭)	八圓七拾八錢	參拾八錢七厘	參拾八錢七厘

寸(清)	分(清)	寸(清)	分(清)
一尺	一寸	一尺	一寸
一丈	一尺	一丈	一尺

《長短尺》

インテ(英、北米)	八分三厘	ステール(佛、白、蘭)	三十五坪九合三勺七秒
フート(英、露、北米)	一尺五厘	(斗量)	
ヤード(英、北米)	三尺一分七厘	ポットル(英、北米)	一升二合五勺九秒三
ホール一名ロット(英、北米)	一丈六尺七寸	ガルロン(英、北米)	二升五合八勺
ミリメートル一名リン(佛)	三厘三毛	ブッセル(英、北米)	二斗一合四勺
キロメートル一名ミル(佛)	三百三十丈	リトル(佛)	五合五勺
リニール(獨)	七厘二毛	(衡量)	
フニス(獨)	一尺四分三厘	チライン(清)	一分零々八
サンチメートル同ホウス(佛)	三分三厘	チエン(清)	一匁八毛
リ(清)	五町六間	リヤウ(清)	十匁八厘
哩(英)	十四町四十五間	カッチ(清)	百六十一匁二分八厘
哩(英)	十六町五十八間	斤(清)	十九貫三百五十三匁八分
(量地尺)		石(清)	一厘七毛二八
エーケル(英、北米)	四反二十四歩	グレイン(英、北米)	七匁九分六厘
アール(佛、蘭、白)	一畝二合五勺	ポンス(英、北米)	百二十匁九分六厘
エクタール(佛、蘭、白)	一町二十五歩	噸(英、北米)	二百七十貫九百五十三匁
(立積尺)		キログラム(佛)	二分六厘六六
船積噸(英、北米)	四十二坪七分三勺	キログラム(佛)	二百六十六匁

〇年 齡 早 見 表

丙	丁	戊	己	庚	申	壬	癸	甲	乙
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
卯	辰	巳	午	未	申				

